

グアテマラと日本： 高付加価値投資に向けた 戦略的パートナーシップ



グアテマラ外務大臣

カルロス・ラミロ・マルティネス・アルバラード

30年以上にわたりグアテマラ外交を担ってきたキャリア外交官。2024年から外務大臣を務めるほか、4期にわたる外務次官として二国間・多国間外交、人権、地域統合、国際協力などを担当。アルゼンチン大使、パラグアイ兼轄大使、ジュネーブ国際機関代表部常駐代表としても活躍し、国際連合や米州機構をはじめとする多くの国際会議で政府代表を務めた。外交政策、国際協力、地域統合、通商交渉、環境、和平合意、移民、欧州・中米間の政治対話などの分野でコンサルタントとしての経験も豊富。グアテマラ「ケツァール勲章」グランクロス（2016年）をはじめ、アルゼンチン、チリ、台湾、メキシコなど各国から多数の勲章を受章。

90年以上にわたり、グアテマラと日本の外交関係は、相互の尊重、信頼、そして共通の価値観に基づいて築かれてきました。この長年の関係は、確固たる友好関係へと発展し、具体的な協力、貿易関係の拡大、そしてグアテマラにおける日本からの投資の増加というかたちで実を結んでいます。

この関係は、ベルナルド・アレバロ・グアテマラ共和国大統領による公式訪日の際にさらに強化されました。同大統領は日本の政府関係者および民間企業の代表者と会談し、グアテマラ政府が経済的繁栄の実現に強く取り組んでいることを示しました。現在、世界のバリューチェーンが構造的な変化を遂げるなか、グアテマラはグローバル展開を目指す日本企業にとって戦略的なパートナーとして注目されています。

すでにグアテマラで事業を展開している日本企業は、この信頼の証といえます。例えば、公共特別経済開発区（ZDEEP）のひとつで事業を開始したショーワグローブ社は、着実に事業を拡大し、現在では自社施設を運営しています。同様に、ZDEEP内に拠点を置く矢崎総業は、フォード・モーター向けのワイヤーハーネスを生産しており、2026年3月には初期工場の3倍規模となる第2工場の建設を発表しました。これにより同社のグアテマラにおける総投資額は約2億6000万米ドルに達し、4500人の雇用が創出される見込みです。これは、グアテマラが投資先として競争力を有するだけでなく、日本企業の長期的な成長戦略を支える能力を備えていることを示しています。

これらの投資判断は、堅固な経済基盤に基づく入念なデューデリジェンスの成果によるものです。グアテ

マラ外務省は、経済省およびその傘下機関であるProGuatemalaなどの主要機関と緊密に連携し、国際イベントへの参加や投資促進活動を戦略的に調整しています。これらの取り組みは、対外直接投資誘致国家戦略の枠組みの中で行われており、日本は優先的パートナーとして位置付けられています。これは、日本が世界有数の経済大国であり、高付加価値産業における世界的リーダーであることを踏まえたものです。この協調的なアプローチには、民間部門との連携や専門フォーラムへの参加も含まれ、「グアテマラ半導体ルート（チップ・ルート）」などの取り組みを紹介し、同国を世界の半導体バリューチェーンの中に位置付けることを目指しています。

グアテマラは、マクロ経済の安定性と持続的な成長でも際立っています。2025年の同国経済は4.1%の成長を記録し、中米地域の平均を上回るとともに、地域最大の経済としての地位を維持しました。慎重な財政政策、抑制されたインフレ、そして強靱な金融システムが、国際投資家にとって予測可能な環境を生み出しています。これらの基盤は、過去10年間で最高の信用等级付けに反映されており、同国はインベストメント・グレードの達成まであと一步の位置にあります。

同国の地理的位置も競争力を強化しています。アメリカ大陸の物流の中心に位置するグアテマラは、中米地域への玄関口として機能し、企業が単一の拠点から地域のバリューチェーンを効果的に管理することを可能にします。さらに、グアテマラは15の貿易協定と19の投資協定を通じて主要市場への効率的なアクセスを提供しており、米国およびメキシコへの優遇的な市場参入を実現しています。サプライチェーンの再編やニ

アショアリングが進む世界情勢の中で、グアテマラは日本企業に対し、供給網の強靱化、物流リスクの軽減、そして主要市場への効率的なサービス提供を可能にする信頼性の高い拠点を提供します。

人的資本も重要な要素です。グアテマラは若年層を中心とした人口構成と人口増加を背景に、労働集約型産業および技術主導型産業の双方にとって戦略的資産となっています。2024年時点で、同国の労働年齢人口は1160万人、経済活動人口は670万人に達しており、現在および将来の投資に対する強固な労働基盤を提供しています。また、重点的な人材育成プログラムや官民連携の拡大により、先端製造、自動車部品、電子機器など、日本企業が強みをもつ高付加価値産業のニーズに対応した人材の育成が進められています。

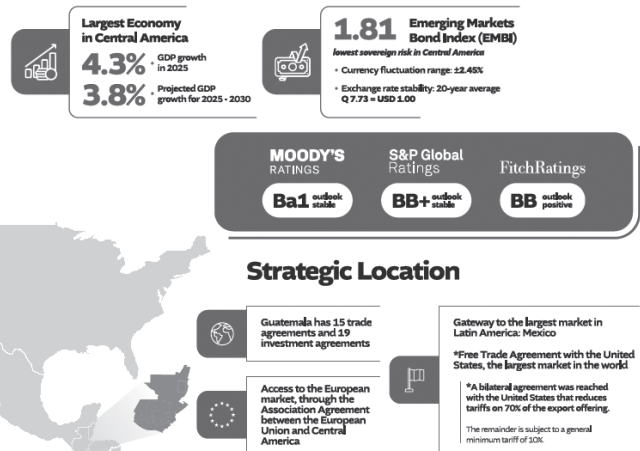
これらの強みは、進化し続ける投資関連法制度によって支えられています。グアテマラは、輸出志向型投資を促進するため、特別制度や税制優遇措置、そして法的安定性を提供しています。その代表例がZDEEP制度であり、世界水準のインフラと簡素化された手続きを通じて投資を円滑にしています。さらに、公正な競争と市場開放を保障する法制度により、透明性の高いビジネス環境が整備されており、二重課税防止協定の整備に向けた進展も、日本投資家にとってより魅力を高めています。

持続可能性は、グアテマラの開発ビジョンの中心的な柱となっています。現在、国内のエネルギー供給の53%が再生可能エネルギーによって賄われており、同国はクリーンエネルギー分野における地域のリーダーとして位置付けられています。この取り組みは、グアテマラ史上最大規模の発電入札である「発電拡張計画 (PEG-5)」の開始によりさらに強化されました。このプロセスでは、割り当てられた発電容量の71.6%が再生可能エネルギーに配分されており、発電の多様化、外国投資の誘致、そして産業向けに安定かつ安全で競争力のある電力供給を確保するための戦略的取り組みが示されています。

国内の強みに加え、グアテマラは将来志向の経済外交を推進し、日本のビジネス界との連携強化に取り組



Robust Macroeconomy: Growth Opportunities



Source: Ministry of Foreign Affairs of Guatemala, based on information and images by the Ministry of Economy of Guatemala

んでいます。この戦略は、投資の円滑化と、高付加価値分野の促進に重点を置いており、自動車部品、先端製造、農産加工、物流、再生可能エネルギーなどの分野が含まれます。グアテマラは単に投資を受け入れるだけでなく、技術移転、イノベーション、そして持続可能な取り組みを伴う長期的なパートナーシップの構築を目指しています。

日本の有する高度な技術と、グアテマラの戦略的な立地、競争力のあるコスト構造、そして投資促進政策との相互補完性は、より深い協力関係を築くための強固な基盤を形成しています。未来に向けた共通のビジョンのもと、両国が経済関係を強化し、高付加価値投資を促進することで、共通の成長、イノベーション、そして持続可能な発展に寄与することができます。グアテマラは、日本の企業および機関と緊密に協力し、信頼、機会、そして長期的戦略ビジョンに基づく新たなパートナーシップの章を築く準備が整っています。

お問い合わせ

駐日グアテマラ共和国大使館
 E-mail: embjapon@minex.gob.gt
https://x.com/EmbajadaGt_Jap

JOI事業企画部
 E-mail: bd@joi.or.jp